

2004.10.21：総務財政委員会

委員長

それでは、これより審査に入ります。「最近の主要な選挙制度の創設・見直しについて」及び「ペイオフ対策について」であります。

なお、「ペイオフ対策について」は次回に審査を行いたいと思いますので、本日は、「最近の主要な選挙制度の創設・見直しについて」当局より説明を願います。

池田友信委員

いろんな制度、新しく変えてよりよい方向に行くということで、特に今回の選挙の中でいかにして投票率を高めるかということで、期日前投票という制度を設置してやったということは、私は数字から見てもこれはいい形で進んでいる、展開しているのではないかと思っています。私も今回初めて、投票日に上京しなければならなかったものですから、期日前投票を実際やってみました。非常にやりやすく、何も押さなくても受け付けていただくという形で大変よかったですなと思っておりますが、そういう意味では、個々の数字から見ても、期日前投票制度は非常に各区とも投票が高まっているということはいいんですが、トータルとして投票率が芳しくないということについては、これは選挙制度もさることながら政治の問題、あるいは出る候補者の魅力の問題とか、政治離れの問題をいかにして喚起するか、こういう手法がこれからあると思うんですが、そこで先般テレビでひょっとチャンネルを出したら、フジテレビだと思うんですが、所ジョージさんの番組でそれぞれの俳優さんたちが、仙台市の選挙キャラクターに対する名前を何とつけるかというんで、それぞれゲストの方が、俺なら伊達政治だとかなんとかっていろいろなキャラクターの名前を出して、その番組でも公募しようと、これはその番組で紹介されたんですけども、そこで初めてわかったんですが、公募で——3万円ですか、これに当たるともらえるということで、あの番組で仙台市選挙管理委員会、これは選管でやっているのか、明るい選挙推進協議会でやっているのか、その辺ちょっと後でお聞きしたいと思うんですが、仙台市のキャラクターに対する応募を呼びかける番組が結構長くやってましたから、取り上げられたことそのものが私は非常によかったなと思っているんですが、その辺の応募状況なんかはその後動きがあるのか、これはどちらの仕事なんですか。選管ではなくて協議会という形でやっているんですか。その辺をちょっと。

選挙管理課長

マスコットキャラクターの愛称募集、今やっているところでございますけれども、これについては選挙管理委員会としてやっているものでございます。

池田友信委員

応募状況はどうなんですか。反響は。

選挙管理課長

応募状況ですけれども、現在のところで1, 400件ほど来ているところでございます。

池田友信委員

私は、これはそこまで全国番組で出されてますから、そういう状況に対して一つのアクションを起こすことが、非常にある意味では意義があるのかなと思っております。単なるキャラクターで済まされずに、それが一つの大きな話題になるということが、話題になって若い人たちに対して選挙をしようと、こういうふうな形になっていくと私は非常におもしろいし、またその後の活用の仕方があると思うんです。

仙台市が非常に全国的にも注目されているのは、ワケルくんのキャラクターなんですね。あれで非常に仙台市の分別に対する展開の仕方がユニークだというふうな見方で見られて、私も知り合いが東京にいるものですから、その知り合いの方から、仙台でこういうのやってるんですってね、そのマスコットの資料か何かもらえないかと言われまして、ワケルくんの反響っていうのは非常に他都市の方であるなという感じがしておりました。前の議会の中でも、ワケルくんだけでなくもう少し親戚ふやしたらというような形で、分別のやり方も含めて、そんなことが地域の方に、ある意味では分別をしないとまずいなというそういう動きになってきたのではないかなというふうに感じているんですが、選挙キャラクターのこの部分について、もっと応募を促進する方法があるのではないかなと。単なる、してますよだけではなくて、ぜひ何とかひとついろんな名前出してくださいということの展開の仕方を、いろんな団体とか、あるいはそういった地域の各区の選管の活動の中に呼びかけるとか、その後の活用の方法とかそういうこともいろんな形でやっていくことによって、若い人たちに展開するという、そんな方法があると思うんですが、その辺に対する考え方があったら、ひとつお聞かせ願います。

選挙管理課長

マスコットキャラクターについても、この前の参院選で初めて使ったというこ

とで、新しいものでございまして、今後これを全面的に出して選挙啓発に向か
っていきたいと考えています。

それで、愛称募集の宣伝等につきましては、チラシ、それからホームページ、
この前の若林区民まつり、電子投票体験コーナーもありましたけれども、その
ところで愛称募集のチラシなんかもまいたりして宣伝には努めているところで
ございます。さらに愛称決まった上で、選挙時だけではなくて、常時啓発活動
も含めて、マスコットキャラクターをどういうふうに活用していくか、そのこ
とについては選挙サポーターさんなんかの意見も聞きながら、さらに検討して
いきたいと考えているところでございます。